

への信仰5 - 審判の日の恐ろしい出来事の数々 (イーマーンの諸基幹)

أركان الإيمان - الإيمان باليوم الآخر [أهوال يوم القيامة]

[اللغة اليابانية]

著者

ムハンマド・ブン・イブラーヒーム・アッ=トゥワイジリー

翻訳者

サイード佐藤

校閲者

ファーティマ佐藤

1428-2007

www.islamhouse.com

審判の日の恐ろしい出来事の数々

- 審判の日は何ものにも比べようのない実に偉大な出来事であり、甚大なる恐怖をもたらします。しもべたちはその恐怖におののき、その眼球はその暗闇の中で見開かれたまま動きません。偉大かつ荘厳なるアッラーはその期間を信仰者には昼から夕方ほどまでの間に、そして不信仰者には50000年にも値する期間の長さにとめられました。その日の恐ろしい出来事には次のようなものがあります：

1-至高のアッラーはこう仰られました：-
そして角笛が一吹き、吹き鳴らされる時。そして大地と山々が宙を舞い、一撃の下にぶつかり合って散り散りになるとき。その日起こるべくして起こるものが起こる。そして天は裂け、その日もろくなる。、（クルアーン69：13-16）

2-至高のアッラーはこう仰られました：-
太陽が包み隠される時。そして星々が落下するとき。そして山々が飛び散るとき。そして妊娠10ヶ月の雌ラクダ（の世話）がおろそかにされる時¹。そして野獣たちが呼び集められた時。そして大洋に（火がつけられ）燃え上がる時。、（クルアーン81：1-6）

3-至高のアッラーはこう仰られました：-
天が割れ裂ける時。そして諸惑星が落下して散り散りになるとき。そして海々が溢れかえって1つの大洋となるとき。そして全ての墓がひっくり返される時。、（クルアーン82：1-4）

4-至高のアッラーはこう仰られました：-
天が裂ける時。そして（天は）その主（の命を）を謹聴し（従っ）たが、それは（天にとって）そうすべきことであつた。そして大地が平たく延べ広げられ、そこに秘められていたもの（死体など）を外に放出し、（存命していた者たちをその表面から）放り投げるとき。そして（大地は）その主（の命を）を謹聴し（従っ）たが、それは（大地にとって）そうすべきことであつた。、（クルアーン84：1-5）

5-至高のアッラーはこう仰られました：-
起きるべくして起きるものが起きるとき。それが起こることを嘘とする者はない。（その日ある者たちはその位を）下げられ、（またある者たちは）上げられる。大地が激しく揺れ動く時、そして山々が砕かれ、ばらばらに飛び散る埃となるとき。、（クルアーン56：1-6）

6-イブン・ウマル（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“ 審判の日を眼前にあるように見ることを欲する者は、（クルアーンのこれらの章を）読むのだ： - 太陽が包み隠される時、（クルアーン第81章）そして- 天が割れ裂ける時、（クルアーン第82章）そして-

¹ 訳者注 妊娠10ヶ月目の雌ラクダは当時のアラブの間で、最も貴重な財産の内の1つでした。

天が割れるとき、（クルアーン第84章）”」（アフマドとアッ=ティルミズィーの伝承²）

● 審判の日、天地は別のものと取って代わられる：

1-至高のアッラーはこう仰られました：-

その日大地はそれではない他の大地と、そして諸天はそれではない他の諸天と取って代わられる。そして（しもべたちは）唯一で全てを制されるアッラーの御許へと、（姿形もその秘めていたものも露わに、墓の中から）まかり出てゆくのだ。、（クルアーン14：48）

2-至高のアッラーはこう仰られました：-

その日われら（アッラーのこと）はまるで書物を巻き上げるように、天を巻き上げる。われらは丁度最初の創造を始めたように、それをもう一度繰り返すのである。（この復活こそは）われらが約束していたもの。われらはそれを完遂するのである。、（クルアーン21：104）

● 天地が別のものにと取って代わられるとき、人々はどこにあるか？

サウバーン（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）の所で立っていると、1人のユダヤ教徒の学者がやって来ました・・・」-そしてこの伝承の中に次のような箇所があります-「そしてユダヤ教徒は言いました：“天地がそれではない別のものにと取って代わられる時、人々はどこにあるのか？”

預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“彼らは架け橋のない暗闇の中にある。”」また別の伝承にはこうあります：“架け橋の上にある。”」（ムスリムの伝承³）

● 召集の場と酷暑と恐怖：

アッラーは被造物を復活させられた後、彼らを審判の大地に結集させます。彼らはそこで靴も衣服もつけず、割礼もされていない状態のままで裁かれるのです。その日太陽はとても近い場所にあり、汗は地上において70腕尺にも達します。そして人々はその行いに応じて、発汗することになります。

1-アル=ミクダード・ブン・アル=アスワド（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私は預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）がこう言うのを聞きました：“審判の日、太陽は被造物に接近する。そして人々の内ある者にとっては、それは1マイルほどの近さにまで近付く。人々はその行いに応じて発汗する。それである者はくるぶしの辺りまで、またある者は膝まで、またある者は足の付け根まで、またある者は汗のくつわをはめさせ

²

真正な伝承。ムスナド・アフマド（4806）、スナン・アッ=ティルミズィー（3333）、サヒーフ・スナン・アッ=ティルミズィー（2653）。文章はアッ=ティルミズィーのもの。アッ=スィルスィラト・アッ=サヒーフ（108）参照。

³ サヒーフ・ムスリム（315）。アーイシャ（彼女にアッラーのご満悦あれ）の伝える同じ伝承は（2791）。

られる。”そしてアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は自らの口を指差されました。」（ムスリムの伝承⁴）

2-アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によると預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「審判の日、アッラーは大地を一握りにされ、そしてその右手でもって天を巻き上げられる。そしてこう仰られる：“われこそは真の王である。地上の王たちはどこにいる？”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁵）

● 裁きのためにアッラーがご来臨されること：

偉大かつ荘厳なるアッラーは審判の日、裁きのためにご来臨されます。そのため大地はその御光によってまばゆく照らされ、被造物はその偉大さと荘厳さに失神します。

1-至高のアッラーはこう仰られました：-

いや、決してそのようにあってはならない。大地が揺り動かされ。ぶつかり合って粉々になるとき。あなたの主は天使を隊列に組ませつつご来臨なされる。、（クルアーン89：21-22）

2-アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によると預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「私をムーサー（モーゼ：彼に平安あれ）よりも優れている、などとしてはならない。人々は審判の日失神し、私も失神する。私は誰よりも先に意識を取り戻すが、その時ムーサーが（アッラーの）玉座の端にしがみついているのを見出す。私は彼も失神して私より先に意識を取り戻したのか、それともアッラーは彼を例外的に失神させられなかったのか、分からない。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁶）

⁴ サヒーフ・ムスリム（2864）。

⁵ サヒーフ・アル＝ブハーリー（7382）、サヒーフ・ムスリム（2787）。

⁶ サヒーフ・アル＝ブハーリー（2411）、サヒーフ・ムスリム（2373）。文章はアル＝ブハーリーのもの。